

第173回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成22年8月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,741	-0.02	-0.02	4,067	0.89	0.00
東部地区	14,386	-0.39	0.21	5,701	0.65	0.22
西部地区	10,677	-1.12	-0.25	4,008	-0.29	-0.14
駅南地区	6,265	-1.95	-0.31	2,669	-0.52	-0.03
半田地区	3,619	0.61	0.08	1,361	1.26	-0.21
横山地区	5,664	-0.75	-0.03	1,876	0.21	-0.05
茨目・田尻地区	6,960	-0.14	-0.02	2,345	0.64	0.12
荒浜地区	5,085	-0.91	0.07	2,011	0.75	0.24
その他地区	20,716	-1.66	-0.07	7,175	-0.15	0.01
西山町地区	6,274	-0.64	-0.28	2,121	-0.18	-0.09
高柳町地区	1,922	-2.63	-0.20	846	-0.23	-0.23
柏崎市計	91,309	-0.89	-0.05	34,180	0.23	0.02
刈羽村	4,881	-1.19	0.04	1,552	0.32	0.06
小国地区（長岡市）	6,298	-2.50	-0.39	2,127	-1.16	-0.32
出雲崎町	5,135	-1.74	0.01	1,808	-0.44	0.11
合計	107,623	-1.04	-0.06	39,667	0.13	0.00

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続きすべての市町村・地区で減少しており、柏崎市で828人、0.89％、刈羽村で59人、1.19％、小国地区（長岡市）で162人、2.50％、出雲崎町で91人、1.74％とそれぞれ減少し、全体では1,140人、1.04％の減少となっている。また、前月比においても、刈羽村で2人、0.04％、出雲崎町で1人、0.01％と増加したものの、柏崎市で52人、0.05％、小国地区で25人、0.39％と減少した結果、全体では74人、0.06％の減少となった。

一方、世帯数は、前年同月比では小国地区25世帯、1.16％、出雲崎町で8世帯、0.44％と減少したが、柏崎市で81世帯、0.23％、刈羽村で5世帯、0.32％と増加した結果、全体では53世帯、0.13％の増加となった。また、前月比においても、小国地区で7世帯、0.32％と減少したが、柏崎市で7世帯、0.02％、刈羽村で1世帯、0.06％、出雲崎町で2世帯、0.11％と増加したことから、全体では3世帯、0.00％の微増となっている。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,012		43.95		2.42	
月間有効求職者	2,172		12.01		-3.33	
月間有効求人倍率	0.47	0.57	0.11*	0.22*	0.03*	0.00*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

労働需給状況については、平成22年1月分までは「パートを除く常用」の計数を記載していましたが、平成22年2月分からは「パートを含む全数」の計数を記載していますので留意願います。なお、前年同月比では、平成23年1月分まで「パートを除く常用」との比較になっています。

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを含む全数）では、月間有効求人数が1,012人と前年同月比で309人、43.95％の増加、前月比では24人、2.42％と増加している。

一方、月間有効求職者数は2,172人と前年同月比で233人、12.01％の増加、前月比では75人、3.33％の減少となっている。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.47倍と前年同月比で0.11ポイント上回り、前月比でも0.03ポイント上回っている。なお、県平均0.57倍と比べると0.10ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを含む全数）については、月間新規求人数が466人と前年同月比で10人、2.19％の増加、月間新規求職者数は554人と前年同月比で102人、22.56％と増加した結果、月間新規求人倍率は0.84倍となり、前年同月の1.01倍に比べて0.17ポイント下回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成22年8月の年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	21	-22	4	125	-97
共 同 住 宅	3	3	3	5	1
事 務 所	0	-1	-1	3	-2
作 業 所・工 場	1	0	-2	7	5
営 業 建 物	1	0	-1	8	-8
公 共 建 物	0	0	0	0	-2
そ の 他	5	-2	-1	54	-1
合 計	31	-22	2	202	-104

（資料出所： 柏崎市建築住宅課）

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が31件と前年同月比で22件の減少となったものの、前月比では2件の増加となった。工種別における主な増減は、前年同月比では一般住宅（併用）が22件減少、前月比では一般住宅（併用）が4件、共同住宅が3件増加している。

なお、工種全体の申請内容は、新築が21件、増築が8件、改築が2件となっている。また、一般住宅（併用）21件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況については、市内施工業者が17件（うち新築9件、増築7件、改築1件）、市外施工業者が4件（うち新築4件）となった。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	64,987	-0.82	-0.05	21,480	13.67	31.14
電 力	10,916	-3.26	-0.09	46,001	19.04	3.97

（資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所）

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で541口、0.82%の減少、前月比でも34口、0.05%と減少している。一方、電力においても、前年同月比で368口、3.26%の減少、前月比でも10口、0.09%の減少となっている。

使用量は、電灯が前年同月比で2,584kwh、13.67%の増加、前月比でも5,101kwh、31.14%と大幅に増加している。一方、電力においては、前年同月比で7,360kwh、19.04%の大幅な増加、前月比でも1,758kwh、3.97%の増加となっている。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	672,105	-10.96	-20.80	786,455	4.98	13.41
営 業 用	284,414	15.52	15.00	151,725	6.83	22.73
工 場 用	773,449	37.66	-4.96	150,435	2.84	2.71
官 公 学 校 用	535,539	23.96	15.56	113,859	12.54	12.11
そ の 他				127	-56.80	122.80
合 計	2,265,507	13.56	-4.54	1,202,601	5.59	12.90

（資料出所： 柏崎市ガス水道局）

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で270,592m³、13.56%の大幅な増加となったものの、前月比では107,780m³、4.54%の減少となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比では家庭用を除くすべての用途で大幅な増加、前月比では家庭用、工場用で減少となっている。

一方、水道給水量においては、前年同月比で63,716m³、5.59%の増加、前月比でも137,490m³、12.90%と大幅に増加している。用途別内訳を見ると、前年同月比ではその他を除くすべての用途で増加、前月比ではすべての用途で増加している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	105,148	3.18	-0.89	111,230	2.33	-2.27
西 山	55,350	-9.93	16.44	55,924	-7.32	23.43
米 山	34,553	-6.63	20.24	32,720	-2.70	22.39
合 計	195,051	-2.65	6.95	199,874	-1.37	7.54

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で5,318台、2.65%の減少となったものの、前月比では12,687台、6.95%と増加している。

一方、出口においても、全体では前年同月比で2,793台、1.37%の減少、前月比では14,018台7.54%の増加となっている。

インター別で見ると、前年同月比では入口・出口ともに柏崎インターが増加、西山・米山インターが減少、反面、前月比では入口・出口ともに西山・米山インターが大幅に増加、柏崎インターが減少となっている。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
未 残	357,965	-0.05	-0.42	148,443	0.90	0.38
平 残	358,907	-0.21	-0.31	147,096	1.25	0.37

預金は、未残が前年同月比で206百万円、0.05%の減少、前月比でも1,523百万円、0.42%と減少している。また、平残においても、前年同月比で761百万円、0.21%の減少、前月比でも1,141百万円、0.31%の減少となっている。

一方、貸出金は、未残が前年同月比で1,328百万円、0.90%の増加、前月比でも574百万円、0.38%と増加している。また、平残においても、前年同月比で1,828百万円、1.25%の増加、前月比でも555百万円、0.37%の増加となった。

8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	34,057	8.06	19.59
交 換 金 額	25,326	26.48	72.22
不 渡 り 手 形 枚 数	56	7.69	273.33
不 渡 り 手 形 金 額	34	-10.63	359.45

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で2,543枚、8.06%の増加、前月比でも5,581枚、19.59%と大幅に増加している。また、交換金額においても前年同月比で5,303百万円、26.48%の大幅な増加、前月比でも10,620百万円、72.22%の大幅な増加となっている。なお、不渡手形は56枚、34百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産5件（前年同月2件、前月6件）、負債総額19億円（同1億円、同22億円）となっている。地区別では、下越地区で5件（新潟市3件、燕市1件、北蒲原郡1件）、中越地区と上越地区は発生していない。業種別は、建設業2件、製造業1件、販売業1件、サービス業1件となっており、倒産原因については、販売不振4件、その他1件となっている。

当月の企業倒産は5件、負債総額で19億円と、前年同月比では件数で3件増加、負債総額では18億円の増加となっている。なお、負債総額10億円以上の大型倒産は発生していないが、5件すべてが1億5千万円以上の大口倒産となっている。

県内経済は、持ち直してきているものの、厳しい状況が続いている。なお、円高の進行やデフレの影響等により、企業の先行きへの不安が高まっている。

企業収益は持ち直してきており、景況感は緩やかな改善が続いている。個人消費・物価は、持ち直しの動きがみられる。雇用面は持ち直しているものの、引き続き厳しい状況となっている。また、円高の影響による輸出鈍化などから、企業経営は苦しい状況が続く可能性がある。